エコアクション21

環境経営レポート

2022年度版

（2022年7月～2023年6月）

2023年9月1日発行

別府建設 株式会社

目　　次

1. 組織の概要…… 1

2. エコアクション 21 導入の背景と目的…… 2

3. 認証・登録の対象範囲…… 2

4. 環境経営方針 …… 3

5. 環境経営目標 …… 4

6. 環境経営計画 …… 5

7. 環境経営計画に基づき実施した取組内容…… 6

8. 環境経営目標の実績 …… 10

9. 環境経営計画の取組結果とその評価…… 11

10.今後（2022 年度以降）の計画…… 12

11.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無…… 13

12.代表者の全体評価と見直しの結果 …… 14

１．組織の概要

１）事業所名及び代表者名

別府建設　株式会社

代表取締役　　福﨑　守

２）所在地

本社・倉庫　〒813-0032 福岡県福岡市東区土井 1 丁目 18－12

３）環境管理責任者氏名及び担当連絡先

環境管理責任者　　渕田　優介

連絡担当者　　大久保　章子

TEL　092-691-1406　FAX　092-691-1407
E-mail okubo@beppukensetsu.jp

４）事業活動の内容

建築工事業、大工工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、

鋼構造物工事業、内装仕上工事業

建設業：福岡県知事許可（特-3）第 29023 号

一級建築士事務所　：県知事登録　第 1-11637 号

URL https://www.beppubld.com/

５）事業の規模

会社設立　　1968 年 5 月 1 日

資本金　　2,500 万円

活動規模	単位	2020 年度	2021 年度	2022 年度
売上高	千円	322,278	428,300	420,620
従業員	人	7	8	8
事務所床面積	㎡	61	67	67
倉庫床面積	㎡	310	310	310

６）事業年度

4 月～翌年 3 月（エコアクション 21 の事業年度は 7 月～翌年 6 月とした）

２．エコアクション 21 導入の背景と目的

建設業は、社会基盤を担う産業であり、計画・設計から施工、解体といった建築物・工作物全体で環境問題と大きく関わっています。特に、全産業から排出され、最終処分される廃棄物の約 5 分の 1 が、建設工事に伴うものだと言われています。そのため、建設業者のより積極的な環境への取り組みは今や必須となっています。

現代社会では、地球環境問題をはじめ、少子化・高齢化、教育・文化、防災などの問題を抱え、企業も個人も社会貢献をすることが求められている時代にあると考えています。それに伴い主体的、自律的に取り組んでいくことが求められています。

現在、弊社では取組の一環として株式会社フォーバルの掲げるグリーンコンソーシアムに参画し、CO_2 削減に取組んでいます。まずは紙の削減からスタートし、GX に対しても取組を始めております。

また、地球の未来のために、持続可能な社会に向けて低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を構築することが必要であり、当社は積極的に環境への取組を行うことが不可欠と考えています。

当社は、ここ数年は売上が下がっていましたが、前年度は少し回復傾向にあるため、環境への取組を切り口にさらに経営力向上を図りたいと考えております。エコアクション 21 の取り組む仕組みにより PDCA サイクルを定着させ、業務をより効率的、効果的に行っていきたいと考えます。

環境活動などの社会的貢献活動を行うことで社会的認知度が上がる為、第三者認証を有して、社会的信頼を高めたいと考えています。

３．認証・登録の対象範囲

（１）対象事業所

本社・倉庫

（２）対象事業活動

建築工事業、大工工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、
鋼構造物工事業、内装仕上工事業

４．環境経営方針

環境理念

当社は、かけがえのない地球環境を守るため、省資源・省エネルギーに努め、自然・社会・人と調和した事業活動を展開します。

当社は建設の事業活動を通じて、環境マネジメントシステムを構築し、環境経営目標を定め、定期的に見直しを行い、環境経営の継続的改善に努めます。

行動指針

１．当社に適用される環境関連法規制や当社が同意するその他の環境関連要求事項を遵守します。

２．当社の事業活動において、次の事項について、具体的な環境経営目標及び環境経営計画を定め、実施します。

① 紙類使用量の削減、二酸化炭素排出量の削減
② ３S（整理・整頓・清掃）活動の実施
③ 木材に関する不良在庫の削減
④ 排気ガス・騒音の抑制のエコドライブ及び車輌の整備
⑤ 節水の徹底による水使用量の削減
⑥ 地域貢献活動の推進
⑦ SDGs の活動、取り組み

３．当社の毎年の環境への取組状況を環境経営レポートにとりまとめ、全社員に周知し、一般にも公表します。

制定日：2021 年 10 月 26 日
改訂日：2023 年 4 月 7 日
別府建設 株式会社
代表取締役 福﨑　守

5. 環境経営目標

・環境経営方針を踏まえ、当社の事業活動における具体的な環境経営目標をサイト区分(事務所、現場、全社)して、以下の 4 項目 8 目標を設定しました。
・なお、化学物質は自社での購入実績がないため目標から除外しました。
・主要な環境負荷である二酸化炭素排出量、建設発生木材排出量、水使用量については、基準年（2020 年度実績値）に対して、毎年 1%ずつ削減し、2024 年度までに 4%削減を目指しました。また、紙使用量については削減の取組を加速するため、毎年 5%で 2024 年度までに 20%削減を目指しました。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年 2020 年度 実績値	中期目標		
				2022 年度 (2%削減)	2023 年度 (3%削減)	2024 年度 (4%削減)
			2020.7～ 2021.6	2022.7～ 2023.6	2023.7～ 2024.6	2024.7～ 2025.6
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO_2	25,847	25,330	25,072	24,813
(1)電気使用量の削減	事務所	kWh	14,858	14,561	14,412	14,264
(2)ガソリン使用量の削減	事務所	ℓ	6,470	6,341	6,276	6,211
(3)軽油使用量の削減	現場	ℓ	1,436	1,407	1,393	1,379
2. 廃棄物排出量の削減						
(1)紙の削減(コピー紙)	事務所	枚	27,044	(10%削減) 24,340	(15%削減) 22,987	(20%削減) 21,635
(2)建設発生木材の削減	現場	kg	109	98	93	87
3. 水使用量の削減	事務所	m^3	167	150	142	134
4. 地域社会貢献活動の推進 (近隣清掃の実施)	事務所	回	0	12	12	12

備考)・二酸化炭素排出量の算定は、2020 年度九州電力㈱の調整後排出係数 0.480kg-CO_2／kWh を使用した。
・(　)の削減率は基準年に対するものである。
・化学物質は自社での購入実績がないため、目標から除外した。
・サイト区分は事務所（倉庫を含む)、現場、全社（事務所＋現場）を示す。

6. 環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組（活動項目）を設定して、全社員で取り組みました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1)電気使用量の 2%削減	全社	渕田	不使用時のパソコン等の電源を OFF にする	大久保	通年
			昼休み等不必要な箇所の消灯を徹底する	大久保	通年
			無人スペースの消灯	大久保	通年
			最適な室温管理に努める	大久保	通年
			新電力への切り替え	大久保	通年
(2)自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量の 2%削減	全社	福﨑	急加速・急停車の防止	城下	通年
			アイドリングストップ	城下	通年
			車間距離を取り、余裕のある運転	城下	通年
			効率的なルートでの移動	福﨑	通年
			定期車輌整備実施による燃費の向上	福﨑	通年

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1)紙の 10%削減（ｺﾋﾟｰ紙）	事務所	渕田	両面コピーと縮小コピーに努める	大久保	通年
			DX 化を目指し、ペーパーレス化に努め	大久保	通年
			PCFAX の活用を更に進める	大久保	通年
			ミスプリント防止に努める	大久保	通年
(2)建設発生木材の 2%削減	現場	城下	木材在庫の管理	福﨑	通年
			発生木材の再利用に努める	城下	通年

3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1)水使用量の 2%削減	事務所	別府葉子	手洗い時に水を出し放しにしない	大久保	通年
			節水促進掲示物の設置	大久保	通年

4. 地域社会貢献活動の推進

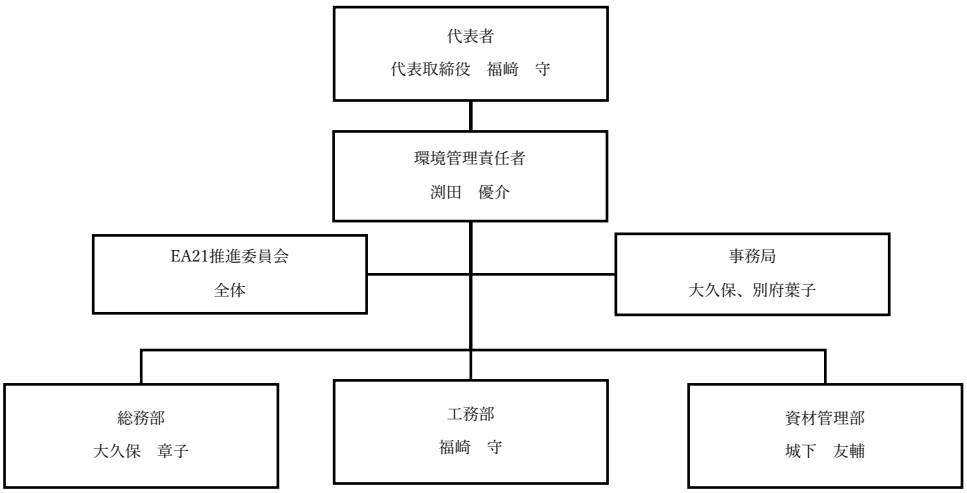
取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1)地域社会貢献活動の推進（近隣清掃月 1 回実施）	事務所	別府茂喜	会社周辺清掃を月に 1 回行う	渕田	通年

7．環境経営計画に基づき実施した取組内容

・2022 年度運用期間に当社が実施した環境への取組は、以下のとおりです。

・実施に当たっては、社内に次のような実施体制を構築して、全社員が一丸となって取り組みました。

（1）エコアクション 21 実施体制



役割・責任・権限

所属	担当者	役割・責任・権限
代表者	福崎　守	・ 環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ ・ システムの構築・運用及び管理に必要な資源（人・設備・費用・技術）を用意する ・ 環境経営方針の設定、目標・計画の承認及び従業員へ伝達を行なう ・ 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	渕田　優介	・ 代表者に代わりシステムの構築・運用状況を監視、結果を代表者に報告する ・ 推進委員会を定期的に開催し、活動内容と問題点の確認と改善を指示する ・ 環境経営目標及び活動計画を作成し、全従業員に周知する ・ 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善及び見直しと必要な処置を行う
事務局	大久保　章子 別府　葉子	・ 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック原案の作成 ・ 環境経営目標及び活動計画の原案作成と実績収集及び取りまとめ ・ 環境経営レポートの作成と公開（社内に備付けと地域事務局への送付） ・ 環境関連の外部コミュニケーションの受信窓口
EA21 推進委員会	―	・ 環境管理責任者の指示のもと、環境経営システムの運用を行う ・ 環境経営方針に基づき、環境経営目標及び活動計画の策定を行い、承認を得る ・ 是正処置又は予防処置を実施し、結果を環境管理責任者に報告する ・ 関連法規、等及び最新情報の収集と実行、順守確認のまとめ及び管理 ・ 活動の実績結果を収集、環境管理責任者に報告する
部門長	大久保　章子 城下　友輔	・ 自部門に関連する環境経営目標及び活動計画の実施及び達成状況の報告 ・ 自部門の従業員に対する環境経営方針、経営目標の説明と教育訓練の実施 ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・ 緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練の実施と記録 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	―	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

（２）環境経営計画に基づき実施した取組

・エコアクション 21 の環境への取組は、SDG s（17 のゴール）の取組と重なるものがあります。ここでは環境経営計画に基づき実施した本年度の取組を SDG s と紐付けて示します。

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です
®環境省
エコアクション21
認証番号　0013645

１．二酸化炭素排出量の削減

（１） 電気使用量の削減

・本社事務所では、昼休みや無人スペースで消灯を徹底しています。
・不使用時のパソコン等の電源を OFF にしています。
・事務所内の室温は、冷房期28℃、暖房期20℃とし、エアコンで調節しています。
・照明器具は省エネ性能の高い LED 照明に切り替えています。
・エアコンの定期点検と保守（フィルター掃除）を行っています。

昼休みの消灯

事務所室温の管理

エアコンの保守・点検

不要な照明の消灯・LED 照明使用

（２）ガソリン、軽油使用量の削減

・エコドライブ（急発進・急停止禁止、アイドリング・ストップ等）を実施しています。
・営業車の更新時には低燃費車（ハイブリッド車、軽自動車）に切り替えています。
・毎月のガソリン、軽油使用量を把握し、定期的な車両整備を実施しています

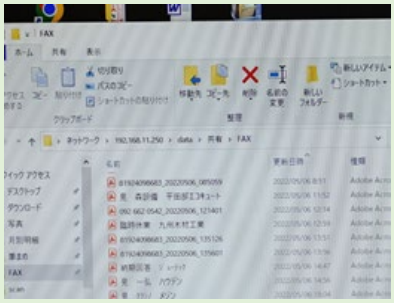
低燃費車（ハイブリッド車）への切替

エコドライブ 10 のすすめ

２．廃棄物排出量の削減

・両面・縮小コピーを徹底し、ミスプリント防止して紙の使用量を削減しています。
・PCFAX の活用によりペーパーレス化に努めています。
・事務所内ではコピー用紙使用量を把握しています。
・産業廃棄物については、木材在庫の管理と発生木材の再利用に努めています。
・マニフェスト管理の徹底し、適正処理に努めました。

事業系ごみの分別排出と排出量の把握


ペーパーレス化の取組

発生材木の再利用（地域への無償配布）

産業廃棄物のマニフェスト発行・管理

3．水使用量の削減

・節水シール等を使って日常的に節水活動を行っています。

節水シールの貼付け

自動水栓の設置

4．地域社会貢献活動の推進

・会社周辺の掃除を月に1回実施しています。

・3F ホールを貸し出しています。

月１回の会社周辺清掃活動

本社ビル３F ホールの貸し出し

8. 環境経営目標の実績

・2022 年運用期間の環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、設定した環境経営目標 4 項目 8 目標のうち、2 項目 4 目標で達成出来ました。
・目標未達となった項目の目標達成率をみると、二酸化炭素排出量が 96%、ガソリン使用量が 90%、軽油使用量が 86%、紙の削減(コピー用紙)が 83%で、いずれも 80%を上回っており、今後の取組次第では十分に目標達成可能レベルにあるため、取組の周知・徹底を図り、全社一丸となり目標達成に向けて取組んで参ります。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年 2020 年度 実績	2022 年度運用期間 (2022 年 7 月～2023 年 6 月)		目標達成率	目標達成状況
			2020 年 7 月 ～ 2021 年 6 月	目標	実績		
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO_2	25,847	25,332	20,353	96%	△
(1)電気使用量の削減	事務所	kWh	14,858	14,516	12,066	120%	◎
(2)ガソリン使用量の削減	事務所	L	6,470	6,324	7,051	90%	△
(3)軽油使用量の削減	現場	L	1,436	1400	1,629	86%	△
2. 廃棄物排出量の削減							
(1)紙の削減（コピー紙）	事務所	枚	27,044	23,888	28,809	83%	△
(2)建設発生木材の削減	現場	kg	109	108	97	111%	○
3. 水使用量の削減	事務所	m^3	167	168	120	140%	◎
4. 地域社会貢献活動 (近隣清掃の実施)	事務所	回	0	12	12	100%	○

備考)・目標達成状況評価区分
◎：目標達成率≧120% ○：100%≦達成率＜120% △：80%≦達成率＜100% ×：達成率＜80% －：判定不可

9. 環境経営計画の取組結果とその評価

・2022 年度運用期間中の環境経営計画の実施状況は以下のとおりであり、設定したほとんどの項目で取組が実施でき、概ね良好な結果となっています。

・今後もこの取組を継続・発展させ、環境経営目標の全項目達成を目指していきます。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的な取組（活動項目）	取組実施状況	評価
(1)電気使用量の 2%削減	全社	◎	不使用時のパソコン等の電源を OFF にする	◎	・取組は概ね実施出来たが、今後は空調温度管理を全社員で取り組む。
			昼休み等不必要な箇所の消灯を徹底する	◎	
			無人スペースの消灯	◎	
			最適な室温管理に努める	◎	
(2)自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量の 2%削減	全社	△（ガソリン） △（軽油）	急加速・急停車の防止	△	・取組は実施出来ており、エコドライブも取り組むことができた。
			アイドリングストップ	△	
			車間距離を取り、余裕のある運転	◎	
			効率的なルートでの移動	◎	
			定期車輌整備実施による燃費の向上	◎	

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的な取組（活動項目）	取組実施状況	評価
(1)紙の 10%削減（コピー紙）	事務所	△	両面コピーと縮小コピーに努める	○	・取組は概ね実施出来たが、目標達成のために更なるペーパーレス化に全社員で取り組む。
			DX 化を目指し、ペーパーレス化に努める	○	
			PCFAX の活用を更に進める	○	
			ミスプリント防止に努める	○	
(2)建設発生木材の 2%削減	現場	○	木材在庫の管理	◎	・今後もこの取組を継続する。
			発生木材の再利用に努める	◎	

3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的な取組（活動項目）	取組実施状況	評価
(1) 水使用量の 2%削減	事務所	◎	手洗い時に水を出し放しにしない	◎	・取組は実施でき、更なる節水に取り組む。
			節水促進掲示物の設置	◎	

4. 地域社会貢献活動の推進

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的な取組（活動項目）	取組実施状況	評価
(1)地域社会貢献活動の推進（近隣清掃月 1 回実施）	事務所	○	会社周辺清掃を月に 1 回行う	◎	・今後も活動を継続していく。

10. 今後（2023 年度以降）の計画

(1)環境経営目標

・今回の運用結果をみると、主要な環境負荷である二酸化炭素排出量は今回の取組で目標を達成することができた。ただ 2 年連続目標未達となった紙の削減においてはほとんどが公共事業案件の獲得によって工事写真や施工計画書などの印刷をせざるを得ない背景があり、当案件を行うことにより売上が基準年度から大きく拡大している。そのため、次年度以降も公共事業案件を獲得していくことを想定すると現状の目標値達成は難しいため当項目においては目標値を 2023 年度以降は基準年に対して年度当たり 2%ずつの削減とする。

・また、新たに目標の項目「建設発生木材のリサイクルの向上」を追加し、環境に対する意識の強化を図っていく

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年 2020 年度実績	目標		
				2023 年度 (3%削減)	2024 年度 (4%削減)	2025 年度 (5%削減)
			2020 年 7 月～2021 年 6 月	2023 年 7 月～2024 年 6 月	2024 年 7 月～2025 年 6 月	2025 年 7 月～2026 年 6 月
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO_2	25,847	25,072	24,813	24,555
(1)電気使用量の削減	全社	kWh	14,858	14,412	14,264	14,115
(2)ガソリン使用量の削減	事務所	L	6,470	6,276	6,211	6,147
(3)軽油使用量の削減	現場	L	1,436	1,393	1,379	1,364
2. 廃棄物排出量の削減						
(1)紙の削減 (コピー紙)	事務所	枚	27,044	(6%削減)	(8%削減)	(10%削減)
				25,421	24,880	24,340
(2)建設発生木材の削減	現場	kg	109	105	104	103
3. 水使用量の削減	事務所	m^3	167	161	160	159
4. 建設発生木材のリサイクルの向上	現場	kg	80	(5%増)	(10%増)	(15%増)
				84	88	92
5. 地域社会貢献活動 (近隣清掃の実施)	事務所	回	0	12	12	12

（２）環境経営計画

・2023 年度以降の環境経営計画は、今回の運用結果を鑑みた結果、現計画をそのまま継続使用することとします。今回結果から一部取組が不十分な項目もあったので、特にガソリン車のエコドライブ、紙のペーパーレス化、地域貢献活動の取組を周知徹底し、目標達成に向けて取り組みます。

11.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無

・当社の事業活動、製品・サービスに適用される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。
・2022 年度運用期間中の事業活動に対して、2023 年 6 月に環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、全ての法律で遵守を確認し、違反はありませんでした。
・また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去 3 年間ありませんでした。

適用される法規等	適用される事項（施設・物質・活動等）	遵守結果
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理 マニフェスト交付状況の定期報告	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易定期点検の実施	○
家電リサイクル法	特定製品廃棄の際の適正な引渡、処理料金の支払い	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡義務	－

備考）　評価区分　○：遵守　　×：不遵守　　－：該当なし

12. 代表者による全体評価と見直しの結果

（１）取組状況の全体評価

取組項目	評価
1. 環境経営目標とその達成状況	・2022 年度（3 月決算）は 2021 年度と同じく基準年度より約 30%の売上が上がった状況を考慮すれば、一部数値目標に関して達成が難しい項目があると判断し、削減目標の一部下方修正を行う必要あると思われる。
2. 環境経営計画の実施状況	・特に紙印刷枚数については、公共事業案件にて提出必要書類が現状では紙のみでしか認められていないため、数値が増加してしまうことが今後も想定されるため、目標数値の見直しを行う必要がある。
3. 環境関連法規の見直し・遵守状況	・本社内の廃棄物排出量については、社員共に認識の共有は行われており、分別処理に努めていると評価する。 ・しかし、一部の現場では缶の中にたばこの吸い殻を入れていたこともあり、まだまだ完全とはいえず改善余地があるため、取組の周知徹底を引き続き行っていく。
4. 内部・外部からの苦情・賞賛等の受付結果	・リサイクル木材については、電話での問い合わせにて DIY 等で使用する目的で一般の方が木の廃材を取りに来られることがあり、引き続き実施していく。

（２）見直しの結果

・環境経営方針、実施体制は現計画を維持するものとします。

・目標、計画に関しては 2 年連続公共事業案件獲得により報告書作成のために紙の印刷枚数が増加し、来年度も公共事業案件を獲得した場合に現状の目標数値の達成が難しいことから当項目の目標数値の見直しを 2023 年度より行うこととしました。

・環境経営目標の共有を定期的に実施したことにより、全社員で目標達成に対しての意識を高めることができました。

・前回より紙のリサイクルとしてペルプ（エコ用紙）を取り入れることによって紙の使用枚数は増えてしまったもののリユースの観点から環境に配慮した取組みを行うことができ、今後も続けていきます。

・今後は更に DX 化を推進していき、可能な限りペーパーレス化を進めていきます。

別府建設株式会社
代表取締役　福崎　守